

## 5. 環境保全に向けた取り組み

三ツ星ベルトは、日本ゴム工業会の「自主行動計画・目標」への参画を通じて、温暖化対策（CO<sub>2</sub>削減）、3R対策（排出物発生抑制・リユース・リサイクル化）、VOC（揮発性有機化合物）排出削減などを推進しています。

### 5. 1 総エネルギー投入量



前年度比で、総エネルギー投入量は0.9%増加、原単位は0.4%増加。

2010年度改正省エネ法により、特定事業者指定され、省エネ活動を推進しています。

2016年度は、省エネ活動を継続推進し、空調・ボイラー・コンプレッサー・照明および生産設備などの省電力活動を継続し取り組みましたが、生産量変動への対応等でエネルギー使用の効率化が十分ではなく、資材投入量あたりのエネルギー使用量は前年度比で微増し、削減目標を達成できませんでした。

四国工場の建屋には太陽光発電装置を設置し、省エネルギーと併せて環境にやさしい工場です。

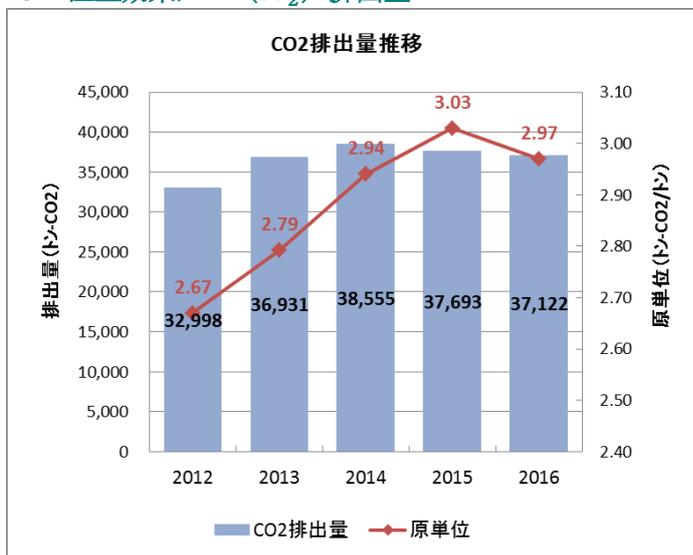
### 5. 2 総物質（資材）投入量



前年度比で、総物質（資材）投入量は0.4%増加。

生産量の増加で資材投入量は増加しましたが、引続きムダを排除し効率化を推進します。

### 5. 3 温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量



前年比で、温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）は1.5%減少、原単位は2.0%の減少。

2016年度は、燃料の都市ガス転換の拡大、および電力会社のCO<sub>2</sub>排出係数の減少により、CO<sub>2</sub>排出算定量、同原単位は減少しました。

業界を通じ、経団連の低炭素社会実行計画に参画し活動しています。

## 5. 環境保全に向けた取り組み

### 5. 4 化学物質排出量、VOC排出量



前年度比で、化学物質排出移動量は1.5%減少、原単位は1.9%減少。

2016年度は樹脂成型品の不良低減活動を推進し、加えて樹脂製品の塗装工程の生産性改善活動により効率改善をすすめました。  
引き続き効率改善を推進します。

2016年度の化学物質排出・移動量（PRTR法第1種指定化学物質） ※事業場別のデータはp.16ご参照下さい

物質名	排出量 [kg]	移動量 [kg]
ε-カプロラクタム	102	59,214
トルエン	23,891	9,441
キシレン	2,634	34
ジクロロメタン	0	0
フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	30	2,101
1,3-ジフェニレングアニジン	0	109
3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	0	3,531
N-(1,3-ジメチルプチル)-N'-フェニル-P-フェニレンジアミン	0	1,350
テトラエチルチウラムジスルフィド	0	40
2-イミダゾリジンチオン	0	12
メチレンビス(4,1-フェニレン)ジイソシアネート	2	2
その他	628	722
合計	27,287	76,556



前年度比で、揮発性有機溶剤(VOC)排出量は37%増加。

揮発性有機溶剤(VOC)排出量は、塗装仕様製品の生産量増加に伴い、前年度対比で37%増加しましたが、塗料、接着剤の水溶性化、接着剤の溶剤レス化などにより、2000年度比で72%低減し、業界の2000年度比50%削減の目標を継続し達成しています。今後も引き続き、生産効率改善をすすめ、低減活動を推進します。

## 5. 環境保全に向けた取り組み

### 5. 5 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量



前年度比で、廃棄物等総排出量は10.9%の増加、ゼロエミッション活動推進により廃棄物最終処分量はゼロ。

廃棄物の削減は、製造現場における廃棄物の発生そのものを抑制することを第一に取り組んでいます。

2016年度は生産量の増加に伴い廃棄物排出量は前年度対比で増加しましたが、廃棄物の分別を徹底し、前年度に引続き神戸本社・事業場、名古屋工場、四国工場、綾部事業所の国内主要全事業所でゼロエミッションを達成しました。

今後も、不良低減および製造工程の効率改善を推進し、排出量の低減と、継続して国内全事業所でゼロエミッション達成維持を目標に活動展開致します。